

## 体育科学生のダンス観と M. P. I. との関連

伊達萬里子, 林悦子, 朝尾洋子  
(武庫川女子大学文学部教育学科体育専攻)

### The Relations between a view of Dance and the Characteristic on Maudsley Personality Inventory by Physical Education Students.

Mariko Date, Etsuko Hayashi, Yōko Asao

*Physical Education Major,  
Department of Education, School of Letters,  
Mukogawa Women's University, Nishinomiya 663, Japan*

#### abstract

The summary of this study is shown below.

Now, Dance education which has changed into the direction to make much of independent creativity, has situated at a important position in womens physical culture.

Because it has the features as a study of physical exercise including intellectual, emotional, and social activities.

The result of this research was analyzed with the same manner as described in the last thesis.

From this studies, it is clear that one's character affects on the view of Dance.

We made investigation into the substance of student interpretation in Dance, relation between characteristic by Maudsley Personality Inventory and a hatred for the Dance.

As a results of this study, the corelation coefficient was clear between neuroticism and extroversion.

It must be necessary to make a guiding plan based on this results in future.

#### 緒言

昭和22年に学校体育指導要領が示されて以来、幾度か改訂を重ねた結果、ダンス教育は自主創造性を重視する方向へと変化して来た。それゆえダンスは知的、情緒的、社会的活動を含む運動学習としての特性を持つ事から女子体育における重要な位置を占めているが、ダンス教育の重要性が提唱されながらも教育の場に於いてなかなか浸透せず、教育効果は一向に上がっていないのが現状ではなかろうか。そして同時にダンス嫌いや不得意の学生の数は減少していないのである。このような背景の中で指導者を育成するに当たり、学生に対して如何に興味を持たせ、能力を高めて行くかが今日の教員養成大学におけるダンス教育の大きな課題となっている。

そこで今回はこの現実を踏まえた上で、それぞれの性格特性とダンス観との関連性を究明して、基礎的・具体的資料を得、より良きダンス指導を工夫すべく研究に取り組んだ。

#### 研究方法

1. 調査対象……武庫川女子大学体育専攻及び短期大学部体育学科1年の学生(回収数194名, 有効率96.5%)
2. 調査期間……1995年4月
3. 調査方法……質問紙法とM. P. I. (モーズレイ性格検査)により統計処理を実施し、ダンスに関する過去の学習経験・関心度と性格特性との比較研究を試みた。尚有意差検定は $\chi^2$ を用いた。

## 結果と考察

## 1. ダンスに対する好き嫌いとの M.P.I. との相関

## 1) ダンス(全体)の比較

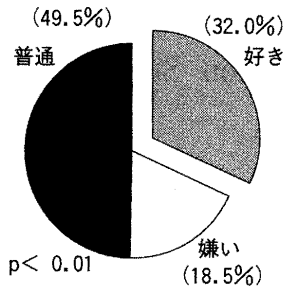


Fig. 1. Likes and Dislikes of Dance

Table 1. Kinds of Like Dance

順位	項目	N	%
1	エアロビクス	41	66.1
1	ジャズダンス	41	66.1
3	バレエ	22	35.5
4	ディスコダンス	21	33.9
5	創作ダンス	15	24.2
6	フォークダンス	10	16.1
6	モダンダンス	10	16.1
8	レクダンス	8	12.9
9	日本舞踊	5	8.1
10	民族舞踊	4	6.5
11	その他	3	4.8
12	社交ダンス	0	0.0

N=62(複数回答)

Table 2. Kinds of Dislike Dance

順位	項目	N	%
1	創作ダンス	34	97.1
2	社交ダンス	28	80.0
3	民族舞踊	24	68.6
4	モダンダンス	22	62.9
5	バレエ	21	60.0
5	日本舞踊	21	60.0
7	ジャズダンス	17	48.6
8	エアロビクス	14	40.0
8	フォークダンス	14	40.0
10	ディスコダンス	13	37.1
11	レクダンス	10	28.6
12	その他	2	5.7

N=35(複数回答)

Table 3. Reasons of Like Dance

順位	項目	N	%
1	体を動かすのが好き	104	65.4
2	踊ることが楽しい	63	39.6
3	気分爽快でストレス解消	58	36.4
4	好きな音楽で踊れる	50	31.4
5	痩せられる	34	21.4
6	関心や興味がある	32	20.1
7	色々なステップを覚えたい	28	17.6
8	体を柔らかくしたい	27	17.0
9	運動不足解消になる	24	15.1
10	なんとなく	23	14.5
11	友達をつくれる	21	13.2
12	作品完成の喜びがある	20	12.6
13	健康保持の為に良い	19	11.9
14	美容に良い	18	11.3
15	自分にあっている	17	10.7
16	軽快なコスチュームが良い	5	9.4
17	体力増進に良い	14	8.8
18	他人にアピールできる	11	6.9

N=159{好き62,普通97} (複数回答)

Table 4. Reasons of Dislike Dance

順位	項目	N	%
1	ダンスの経験が少ないから	49	37.1
2	レオタードを着るのがいや	45	34.1
2	恥ずかしいから	45	34.1
2	創作が嫌い	45	34.1
5	下手だから	44	33.3
6	思っているイメージで動けない	36	27.3
7	リズム感が悪いから	32	24.2
8	色々な表現方法を知らない	30	22.7
9	他のスポーツが好きだから	24	18.2
9	体が堅いから	24	18.2
11	考えるのが面倒	20	15.2
12	センスが悪いから	17	12.9
13	動きを覚えるのが苦手	14	10.6
13	おもしろくない	14	10.6
15	なんとなく	8	6.1
16	疲れるから	2	1.5
17	その他	1	0.8
18	運動量が少ないから	0	0.0

N=132{嫌い35,普通97} (複数回答)

図1はダンス全体を好嫌別に示したものである。好き32.0%、嫌い18.5%、普通49.5%という結果から、1%水準で有意差が認められた。次に好きなダンスを種目別で分類すると表1から上位にエアロビクス、ジャズダンス66.1%が群を抜いて高い回答率であった。これらの種目は社会体育の現場で開講されている人気種目でもある。その理由として表3に示すように「体を動かすのが好き65.4%、踊ることが楽しい39.6%、気分爽快でストレス解消になる36.4%、好きな曲で踊れる31.4%」となっている。この結果は好きな種目としてのエアロビクス、ジャズダンスの特性とする内容と一致しているのではないだろうか。次に表2から嫌いな種目として1位に創作ダンス97.1%、以下社交ダンス80.0%、民族舞踊68.6%と続いている。その理由として表4に示したように「ダンスの経験が少ないから37.1%、レオタードを着るのがいや・恥ずかしいから・創作が嫌い34.1%、下手だから33.3%」等経験不足からくる精神的・身体的な要因を挙げている。この内特徴的な事柄としては、創るのが嫌いだからダンスが嫌いと回答した数値である。これは経験の少なさからくる「創り方がわからない、イ

体育科学生のダンス観とM.P.I.との関連

メージが浮かばない、思うように動けない、リズムに乗れない」等の拒否反応ではないだろうか。

以上ダンス全体に対する好嫌度について心理的な影響がどう関わっているか M.P.I. を用いて比較検討した結果を表5に示した。ダンスが嫌いと回答した群でNとE間に5%水準で有意差が認められた。そして図3の座標図から比較的内向型で神経症的傾向が高いことがわかる。N尺度の神経症的傾向について嫌いと回答した群は好き・普通と回答した群より比較的高く5%水準で有意差が認められた。これは情動(感情・情緒)の過敏性を示す傾向であって、わずかなストレスに対しても言動に神経的混乱を引き起こすような人に見られる性格特徴であり、いわゆる神経質で落ち着きの無い、いつでも緊張している人柄と印象づけられる情緒不安定な性格特徴を示す。好き・普通と回答した群では、全体的にE尺度は外向性を示し、普通群のN尺度は5%水準で有意差が認められ、神経症的傾向はノーマルかもしくは低いという結果になった。

Table 5. Relationship between Likes and Dislikes of Dance and Characteristic by Maudsley Personality Inventory

	Neuroticism						Extraversion						相関係数 r
	段階点	n	%	得点	M	SD	段階点	n	%	得点	M	SD	
好き (62人)	1	13	20.97	74	5.69	2.23	1	0	00.00	0	00.00	—	-.007
	2	20	32.26	297	14.85	3.76	2	4	6.45	55	13.75	3.03	
	3	22	35.48	544	24.73	3.74	3	10	16.13	251	25.10	3.78	
	4	7	11.29	229	32.71	2.71	4	26	41.94	976	37.54	3.25	
	5	0	00.00	0	00.00	—	5	22	35.48	997	45.32	1.72	
嫌い (35人)	1	2	5.71	17	8.50	0.50	1	0	00.00	0	00.00	—	-.324*
	2	9	25.72	130	14.44	2.97	2	0	00.00	0	00.00	—	
	3	12	34.29	298	25.08	2.92	3	14	40.00	380	27.14	2.39	
	4	10	28.57	325	32.50	2.54	4	15	42.86	556	37.07	2.84	
	5	2	5.71	82	41.00	1.00	5	6	17.14	266	44.33	2.36	
普通 (97人)	1	15	15.46	102	6.88	2.62	1	0	00.00	0	00.00	—	-.131
	2	32	32.99	496	15.50	3.98	2	6	6.18	91	15.17	2.6	
	3	41	42.28	1016	24.78	3.68	3	14	14.44	368	26.29	2.63	
	4	7	7.21	239	34.14	2.53	4	61	62.89	2282	37.41	3.33	
	5	2	2.06	80	40.00	0.00	5	16	16.49	715	44.69	1.36	

\*p<0.05

N=194

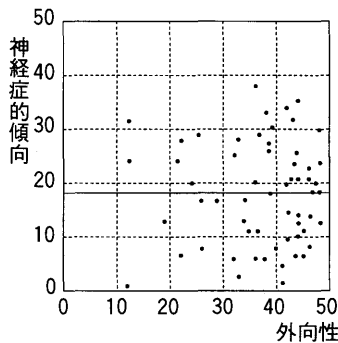


Fig. 2. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Like Dance

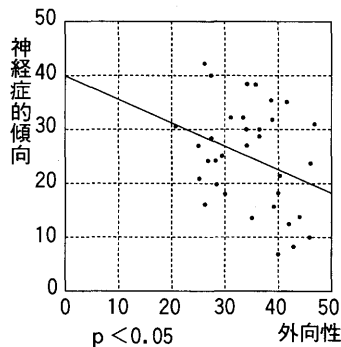


Fig. 3. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Dislike Dance

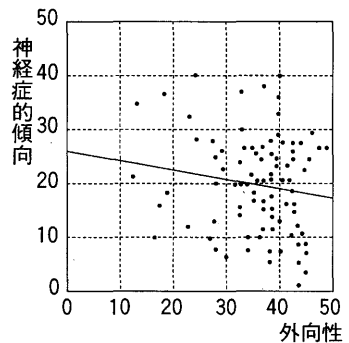


Fig. 4. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Commonly

2) ダンス(鑑賞)の比較

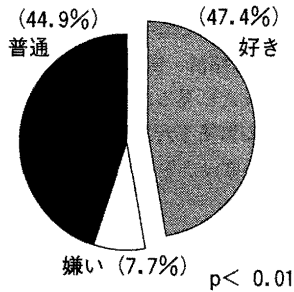


Fig. 5. Like and Dislike of Enjoy Dance

Table 6. Kinds of Like Enjoy Dance

順位	項目	N	%
1	ディスコダンス	51	55.4
1	ジャズダンス	51	55.4
3	創作ダンス	48	52.2
4	バレエ	42	45.7
5	エアロダンス	33	35.9
6	モダンダンス	15	16.3
7	日本舞踊	10	10.9
8	レクダンス	6	6.5
9	民族舞踊	5	5.4
10	社交ダンス	3	3.3
10	フォークダンス	3	3.3
12	その他	2	2.2

N=92(複数回答)

Table 7. Kinds of Dislike Enjoy Dance

順位	項目	N	%
1	社交ダンス	12	80.0
2	民族舞踊	10	66.7
2	日本舞踊	10	66.7
4	モダンダンス	8	53.3
5	バレエ	7	46.7
5	創作ダンス	7	46.7
5	フォークダンス	7	46.7
8	エアロビクス	6	40.0
8	ジャズダンス	6	40.0
8	レクダンス	6	40.0
11	ディスコダンス	3	20.0
12	その他	2	13.3

N=15(複数回答)

図5はダンスを鑑賞することについて好嫌別に示したものである。

好き47.4%, 嫌い7.7%, 普通44.9%という結果となり, 1%水準で有意差が認められた。ダンス全体と比較すると好きの割合ではダンス全体の回答より1.5倍増加し, 嫌いは半分以下の数値という結果になった。これに関して考えられることは, 第三者としてダンスを見て楽しむことは音楽鑑賞や絵画鑑賞と同じく, 芸術的であり, 動きのあるリズムカルな映像として理解し, 肯定的なのではないだろうか。

表6より鑑賞したい種目として1位にディスコ, ジャズダンス55.4%が挙げられている。これはダンス全体から見ても踊りたい種目として上位に位置している。2位には創作ダンス52.2%と回答しており, 注目すべき点であろう。これに関してはダンス全体から見た場合, 後で述べる踊ることが嫌いな種目として1位に挙げられており, 目的意識の違いが興味ある結果となった。又バレエも4位と45.7%でやはり上位に入り, 専門的な技術としての特異性が考えられるのではないだろうか。昨今では各ダンス関係のビデオの充実やテレビ放映, 歌番組でのステージダンス, 全日本ダンスフェスティバルに代表されるダンス公演の開催など, 手軽に楽しめるようになったことも起因していると考えられる。表7に鑑賞したくない種目を挙げているが, 回答数が15名と少ないため明確に言えないが社交ダンス以下日本舞踊, 民族舞踊と続く。

Table 8. Relationship between Likes and Dislikes of Enjoy Dance and Characteristic by Maudsley Personality Inventory

	段階点	n	Neuroticism			段階点	n	Extraversion			相関係数 r		
			%	得点	M			SD	%	得点		M	SD
好き (92人)	1	18	19.56	98	5.44	2.79	1	0	00.00	0	00.00	-.150	
	2	30	32.61	465	15.50	3.96	2	3	3.26	41	13.67		2.36
	3	34	36.96	833	24.50	3.59	3	16	17.39	403	25.19		3.71
	4	9	9.78	304	33.78	2.86	4	45	48.91	1727	38.38		3.13
	5	1	1.09	40	40.00	1.00	5	28	30.44	1264	45.14		1.7
嫌い (15人)	1	1	6.67	8	8.00	0.00	1	0	00.00	0	00.00	-.140	
	2	3	20.00	40	13.33	2.49	2	1	6.67	12	12.00		0.00
	3	4	26.67	104	26.40	1.96	3	7	46.67	185	26.43		2.38
	4	5	33.33	159	31.80	1.94	4	5	33.33	184	36.80		2.40
	5	2	13.33	82	41.00	1.00	5	2	13.33	91	45.50		1.50
普通 (87人)	1	11	12.65	87	7.92	0.76	1	0	00.00	0	00.00	-.009	
	2	28	32.18	403	14.93	3.67	2	6	6.90	93	15.50		2.99
	3	37	42.53	921	24.89	3.68	3	15	17.24	411	27.40		1.74
	4	10	11.49	330	33.00	2.61	4	52	59.77	1903	36.60		3.18
	5	1	1.15	40	40.00	0.00	5	14	16.09	623	44.50		1.72

N=194

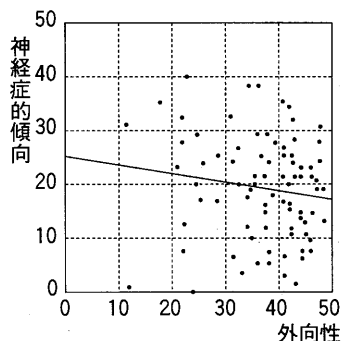


Fig. 6. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Like Engoy Dance

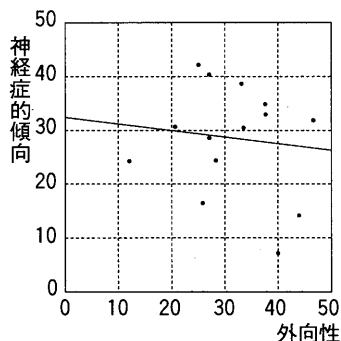


Fig. 7. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Dislike Engoy Dance

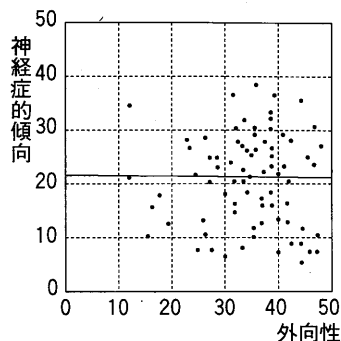


Fig. 8. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Commonly

M.P.I.との関連では表8に示すようにNE間では有意差は認められなかった。E尺度に関しては全体に外向性を示している。又N尺度に関して検定した結果、好きと回答した群に5%水準で有意差が認められ、神経症的傾向はノーマルもしくは低いと考えられる。図6から嫌いと回答した群にやや神経症的傾向の高さが見られた。

3) ダンス(踊る)の比較

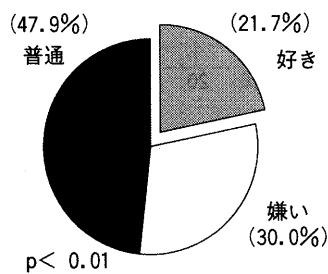


Fig. 9. Like and Dislike of Dancing

Table 9. Kinds of Like Dancing

順位	項目	N	%
1	ジャズダンス	36	61.0
2	エアロダンス	28	47.5
3	バレエ	22	37.3
4	ディスコダンス	20	33.9
5	創作ダンス	17	28.8
6	モダンダンス	10	16.9
7	フォークダンス	7	11.9
8	レクダンス	5	8.5
9	その他	3	5.1
10	日本舞踊	2	3.4
11	社交ダンス	0	0.0
11	民族舞踊	0	0.0

N=59(複数回答)

Table 10. Kinds of Dislike Dancing

順位	項目	N	%
1	創作ダンス	35	97.1
2	社交ダンス	30	80.0
3	バレエ	28	68.6
4	日本舞踊	25	62.9
4	民族舞踊	25	60.0
6	ジャズダンス	22	60.0
7	モダンダンス	21	48.6
8	エアロビク	18	40.0
9	フォークダンス	16	40.0
10	ディスコダンス	13	37.1
10	レクダンス	13	28.6
12	その他	3	5.7

N=42(複数回答)

図9はダンスを踊ることについて好嫌別に示したものである。好き30.4%、嫌い21.7%、普通47.9%という結果となり1%水準で有意差が認められた。好きと回答した割合がダンス全体や鑑賞と比較するとやや減少し、嫌いが増加している。これに関してはダンス全体で嫌いと回答した理由「経験が少ない、恥ずかしい、創るのが嫌い、下手だから」等から推測できるのではないかとと思われる。好きな種目としては表9に示しているが、ダンス全体とはほぼ同回答が得られた。次に表10に示すように嫌いな種目に関してバレエが3位に挙げられている。これは厳しい身体トレーニングと数々の高度なテクニックをマスターせずは無経験では中々踊りこなせないというイメージがあるからではないだろうか。その他についてはダンス全体と同じ事が言える。注目すべき点として4名の学生はすべての種目を踊りたくないとし、8名は大半の種目を踊りたくないと否定している。完全なるダンス嫌いである。

Table 11. Relationship between Likes and Dislikes of Dancing and Characteristic by Maudsley Personality Inventory

	Neuroticism					Extraversion					相関係数 r	
	段階点	n	%	得点	M	SD	段階点	n	%	得点		M
好き (59人)	1	13	22.03	77	5.00	2.10	1	0	00.00	0	00.00	—
	2	18	30.52	251	14.63	3.01	2	4	6.78	55	13.67	2.36
	3	21	35.59	520	24.73	3.77	3	10	16.95	256	26.00	3.94
	4	7	11.86	229	34.00	2.96	4	26	44.07	965	38.25	3.37
	5	0	00.00	0	00.00	—	5	19	32.20	864	45.35	1.77
嫌い (42人)	1	5	11.90	39	6.22	3.26	1	0	00.00	0	00.00	—
	2	14	33.33	208	16.38	4.82	2	2	4.76	29	14.50	2.11
	3	10	23.81	257	24.56	3.06	3	12	28.57	323	24.71	2.43
	4	11	26.20	222	32.50	1.80	4	23	54.77	870	38.19	2.83
	5	2	4.76	82	40.00	1.00	5	5	11.90	220	44.63	1.49
普通 (93人)	1	12	12.90	77	6.54	2.79	1	0	00.00	0	00.00	—
	2	29	31.18	464	16.00	4.46	2	4	4.30	62	15.50	2.99
	3	44	47.32	1081	24.57	3.57	3	16	17.21	420	27.05	2.14
	4	6	6.45	201	33.50	2.69	4	53	56.99	1979	36.60	3.18
	5	2	2.15	80	40.00	0.00	5	20	21.50	894	44.63	1.72

\*p<0.05

N=194

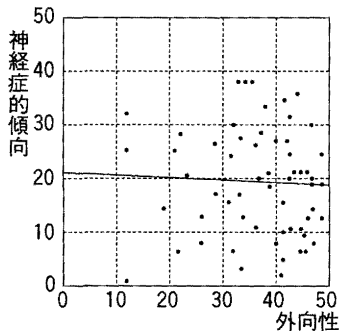


Fig. 10. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Like Dancing

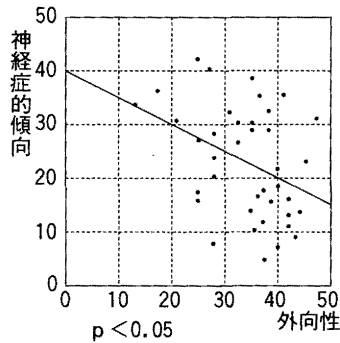


Fig. 11. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Dislike Dancing

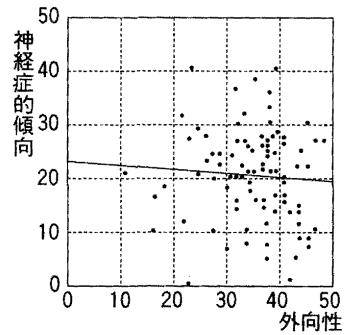


Fig. 12. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Commonly

M. P. I. との関連では表 11 に示したように、嫌いと回答した群では N と E 間に 5% 水準で有意差が認められた。ダンス全体の嫌いと同傾向で N 尺度が高い数値を示す。次に普通と回答した群の N 尺度に関して、ダンス全体の普通と回答した群と同じく 5% 水準で有意差が認められた。E 尺度は 3 群とも外向性の傾向である。

2. ダンスに対する得意不得意と M. P. I. との相関

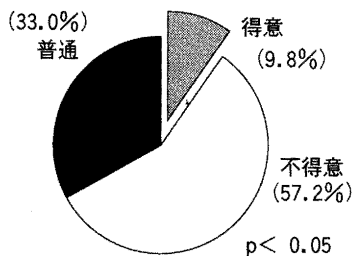


Fig. 13. Skill and Unskill of Dance

Table 12. Relationship between Likes and Dislikes, Strong and Weak points

	好き (%)	嫌い (%)	普通 (%)	N (%)
得意	19 (9.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (9.8)
不得意	12 (6.2)	34 (17.5)	65 (33.5)	111 (57.2)
普通	31 (16.0)	1 (0.5)	32 (16.5)	64 (33.0)
N (%)	62 (32.0)	35 (18.0)	97 (50.0)	194 (100.0)

$\chi^2=78.44$

P<0.01

図 13 はダンスの得意不得意別を示したものである。

得意9.8%，不得意57.2%，普通33.0%という結果になり5%水準で有意差が認められた。

ダンスの好嫌との関係を表12から分析すると，1%水準で有意差が認められた。ダンスが好きでも技術レベルは高くないと回答し，好嫌が普通と回答した群では不得意と言う結果になった。当然ダンス嫌いの学生は不得意であるとしている。

Table 13. Relationship between Skillful and Unskillful of Dance and Characteristic by Maudsley Personality Inventory

	段階点		Neuroticism			段階点		Extraversion			相関係数 r		
	n	%	得点	M	SD	n	%	得点	M	SD			
得意 (19人)	1	3	15.79	20	6.67	0.47	1	0	00.00	0	00.00	-.033	
	2	6	31.58	87	14.50	2.81	2	0	00.00	0	00.00		
	3	9	47.37	199	22.11	2.56	3	4	21.05	102	25.50		4.98
	4	1	5.26	38	38.00	0.00	4	5	52.63	187	37.40		2.50
	5	0	0.00	0	00.00	—	5	10	26.32	456	45.60		1.80
不得意 (111人)	1	17	15.31	101	5.95	2.91	1	0	00.00	0	00.00	-.115	
	2	38	34.23	588	15.47	4.18	2	6	5.41	84	14.40		3.01
	3	34	30.63	866	25.50	3.29	3	26	23.42	716	25.68		2.82
	4	19	17.11	616	32.47	2.40	4	59	53.15	2218	38.03		3.09
	5	3	2.72	122	40.67	0.94	5	20	18.02	899	44.72		1.82
普通 (64人)	1	10	15.63	72	7.75	0.83	1	0	00.00	0	00.00	-.136	
	2	17	26.56	248	14.76	3.31	2	4	6.25	62	14.80		2.79
	3	32	50.00	793	24.76	3.81	3	8	12.50	207	27.67		1.75
	4	4	6.25	139	33.83	2.61	4	38	59.38	1447	36.39		3.32
	5	1	1.56	40	40.00	0.00	5	14	21.87	623	44.89		1.20

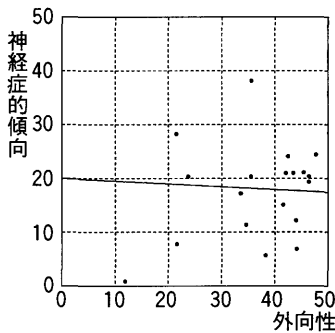


Fig. 14. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Skilled Labor

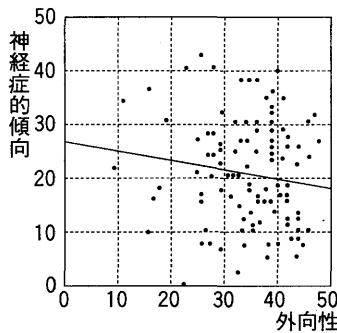


Fig. 15. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Unskilled Labor

N=194

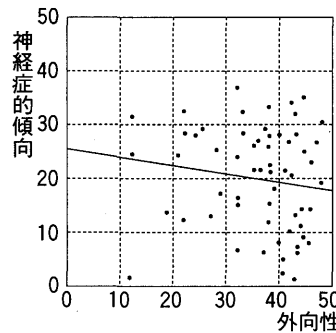


Fig. 16. Correlations between Neuroticism and Extraversion of Commonly

M.P.I.との関連では表13に示したようにNとE間では有意差は認められなかった。全体的にはE尺度は外向性でN尺度はノーマルである。又N尺度に関して普通と回答した群に5%水準で有意差が認められた。神経症的傾向は低い。

性格特性の顕著な結果は表れなかった。

3. 将来におけるダンス学習意欲の有無

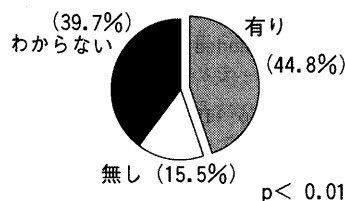


Fig. 17. Hopes and not Hopes for Lessons

Table 14. Relationship between Likes and Dislikes, Hopes and not Hopes for Lesson

	好き (%)	嫌い (%)	普通 (%)	N (%)
習いたい	47 (24.3)	9 (4.6)	31 (15.9)	87 (44.8)
習いたくない	1 (0.5)	19 (9.8)	10 (5.2)	30 (15.5)
分からない	14 (7.2)	7 (3.6)	56 (28.9)	77 (39.7)
N (%)	62 (32.0)	35 (18.0)	97 (50.0)	194 (100.0)

$\chi^2=79.15$

$P < 0.01$

図17は今後ダンスを習いたいかどうか、意欲の有無別に示したものである。

有る44.8%，無い15.5%，わからない39.7%という結果になり1%水準で有意差が認められた。

ダンスの好嫌と学習意欲の有無との関係を表14から見ると1%水準で有意差が認められた。好き嫌いが普通と回答した群では30%，嫌いと回答した群では26%の学生が意欲が有りという結果になった。しかし嫌いと回答した群で意欲が無いが54%であった。その大半が踊ることも鑑賞することも拒否している。今後の学生指導上大きな問題点ではないだろうか。

習いたい種目を表15に示したようにエアロビクス、ジャズダンス、ディスコダンスが上位を占めている。これはダンス全体の好きな種目と一致している。リズム感に溢れ、動きを容易に楽しむ事が出来るからであろう。

Table 15. kinds of Hopes Lesson in Dance

順位	項目	N	%	順位	項目	N	%
1	エアロビクス	59	67.8	7	モダンダンス	10	11.5
2	ジャズダンス	35	40.2	8	レクダンス	5	5.7
2	ディスコダンス	35	40.2	8	社交ダンス	5	5.7
4	バレエ	16	18.4	10	その他	3	3.4
5	日本舞踊	13	14.9	10	民族舞踊	3	3.4
6	創作ダンス	12	13.8	12	フォークダンス	1	1.1

N=87(複数回答)

## 結 論

ダンスの好き嫌いとは学生の性格構造を分析すると次のような事が言える。ダンスの好きな学生は精神的にあまりよくよせず、社交的・開放的で動作や感情にためらいが無い。そのうえ陽気でおおらかな性格で衝動的な特徴を示す。その為積極的に内面の自己表現が出来るダンスが快感として受け入れられるのであろう。更に技術的な得意不得意に関してもあまり問題にせず、エネルギー発散の場として精神的・肉体的に満足感を得ることが出来るのではないと思われる。ダンスの好き嫌いが普通で学習意欲の有無がわからないと回答した学生に対しては、教師の指導如何により興味・関心を持たせることが性格特性の結果から容易に出来ると思われる。問題はダンス嫌いで、踊ることも鑑賞することも拒否し、更に学習意欲の見られない学生である。性格特性としてE尺度は体育科の全体的傾向である外向性を示しているが、N尺度では神経症的傾向が高く、神経質で情緒不安定であり、ややもするとヒステリー的に見られる特長がある。

以上の事から、授業開始前に性格を把握し、ダンス創作時には性格特性を踏まえて適切なグルーピングを行い、作品作りをさせることが問題解決を計る糸口になるものと考えられる。その為に心理的治療効果を得る指導法や教材研究が必要であると思われる。

## 参 考 文 献

- 1) 伊達萬里子, 武庫川女子大学紀要, 27, p.11~18 (1979)
- 2) 伊達萬里子, 武庫川女子大学紀要, 42, p.91~96 (1994)
- 3) 伊達萬里子, 日本体育学会大会号, 45, p.178 (1994)
- 4) H.J. アイゼンク, モーズレイ性格検査, 誠信書房, 東京, p.1~24 (1984)
- 5) M. P. I. 研究会編, 新性格検査法, モーズレイ性格検査, 誠信書房, 東京, p.1~ended (1969)
- 6) 松本千代栄他, ダンス表現学習指導全書, 大修館, 東京, p.64~101 (1980)
- 7) 西谷令子他, 表現・ダンス学習指導の体系化をめざして, 遊戯社, 東京, p.26~36 (1986)